

「表現遊び」「表現」指導の工夫・改善を通して、積極的に身体や言語を使ったコミュニケーションができる児童の育成

宮崎県 日南市立飫肥小学校

教諭 今村 陽一

1 研究の目的

研究主題 「表現遊び」「表現」指導の工夫・改善を通して、積極的に身体や言語を使ったコミュニケーションができる児童の育成	
目指す児童像 イメージしたことを、動いたり言葉にしたりして表現できる児童 ～体を動かすって楽しい！～	
研究目標 「表現遊び」「表現」において、児童が”わかる”ことを実感し、”かかわる”ことを通して、意欲的に活動できる楽しい授業になるよう指導方法の工夫・改善や学習資料の工夫について追究する。	
研究仮説 「表現遊び」「表現」における指導方法や学習資料の工夫・改善を行えば、児童が”わかる”ことを実感し、”かかわる”ことを意識した楽しい授業になるであろう。	
研究内容	
1 指導方法の工夫・改善 (1) 学習指導要領の内容整理 (2) 単元計画の基本的な考え方や一単位時間の学習指導過程の整理 (3) 評価計画の作成	2 意図的計画的な学習資料の工夫 (1) 動き方を分かりやすくイメージさせるための視覚資料の工夫 (2) 動き方の想像を広げる表の活用 (3) かかわりを意識し、意欲的に学習に取り組むためのワークシートの工夫

2 研究の内容

(1) 指導方法の工夫・改善

① 学習指導要領の内容整理

学習指導要領の整理を行い、日南市小体連理事会において、学習会を行った。キーワードとなる動きを整理し、どの段階でどのような指導を行うべきか明確化を図った。

② 単元計画の基本的な考え方や一単位時間の学習指導過程の整理

単元計画を見直すにあたって、単元の流れにおける基本的な考え方を整理した。

日南市小体連では、各学年部における学習指導要領の内容を2学年に振り分けて実施する

ことにした。

単元の流れについては、下図のように整理し、教える内容と児童に考えさせる内容とに分けて、単元を構成した。次に、単元計画で配置した内容を、一単位時間に振り分け授業を展開するようにした。

【単元計画の基本的な考え方】

時間	学習活動及び内容
	単元の流れ →
1	1 題材についてイメージを出し合う(考)
↓	2 イメージしたことに動きを付ける(教→考)
↓	3 付けた動きを共有する(考)
↓	4 動き方を考える(教→考)
n	5 作品を作る(考)
	6 発表会をする(考)
	7 鑑賞し互いの良さを表現する(考)

【基本的な考え方を示した表】

単元計画の内容と1単位時間への振り分け

時間	学習内容及び活動			
1	1 題材についてイメージを出し合う(考)			
↓	2 イメージしたことに動きを付ける(教→考)			
↓	3 付けた動きを共有する(考)			
↓	4 動き方を考える(教→考)			
↓	5 作品を作る(考)			
↓	6 発表会をする(考)			
n	7 鑑賞し互いの良さを表現する(考)			

時間	1	2	...	n
活動する段階	1 題材についてイメージを出し合う(考) 2 イメージしたことに動きを付ける(教→考)	2 イメージしたことに動きを付ける(教→考) 3 付けた動きを共有する(考) 4 動き方を考える(教→考)	5 作品を作る(考)	7 鑑賞し互いの良さを表現する(考)

【1単位時間の内容振り分け】

【一単位時間の学習指導過程】

階	学習内容及び活動	主な留意点
つかむ	1 ウォーミングアップ ○ わくわく運動など	※ ウォーミングアップによって心と体をほぐす。 ※ わくわく運動とは、体力向上を目指し日南市小体連で作成した運動である。 バランスよく身体を動かすことができるもので、音楽に乗って身体を動かすものである。
見通す	2 学習の約束の確認と前時学習の振り返り	※ 学習の約束を確認し、学習の取り組み方について指導する。
活動する	3 本時の創作活動をする	※ 単元計画のどの段階を行うか、児童に明確に示し、学習の見通しをもたせる。
まとめ	4 本時学習のまとめ	※ できたことやできなかったことなど具体的に本時学習を振り返らせ、活動意欲を呼び起こしたい。



表現運動の約束

- ① 人でできる。誰とでできる。
- ② はずかしがらず、思い切りやる。
- ③ 自分のアイデアを1つは出す。

【1単位時間の学習指導過程】

③ 評価計画の作成

評価規準に盛り込むべき事項について、『国立教育政策研究所(2011)「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」(小学校体育)』を参考に評価規準を設定した。その評価規準をもとに、学習カードを作成し、児童が自己評価できるようにした。加えて児童がその日の授業でできたことやわかったことを自由に記述できる欄を設け、かかわり合いを意識できる工夫をした。

評価規準に盛り込むべき事項(参考文獻・資料2より)		
運動への関心・意欲・態度(かわる)	運動についての思考・判断(わかる)	運動の技能(できる)
5 表現運動の楽しさや喜びに感じることができるよう、進んで取り組むとともに、互いの良さを認め合い助け合って練習や発表をしようとする。運動をする場の安全に気を配ろうとしたりしている。	自分やグループの課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。	表現やフォークダンスについて、表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊るための動きを身に付けている。

本研究における評価規準(高学年分)		
運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
5 ・ 進んでコミュニケーションを回り表現運動に取り組むことができる。	・ 表現したいもののイメージに合うように動きや動き方を工夫することができる。!	・ 表したいイメージに合うような動きや動き方ができる。
6 ・ 互いの良さを認め合い作品づくりに生かすことができる。		
年 ・ 場の安全に気を配って運動することができる。		

学習カードの例

月	日(曜日)
めあて	
テーマ どんな動きができたかな? 必要なものはメモしよう。	
授業を振り返って(A…よくできた B…できた C…あまりできなかった D…できなかった)	
1	友達と動きなどについてコミュニケーションできましたか?
2	自分や友だちの動きなどの良さがわかり伝えられましたか?
3	安全に気を付けて運動することができましたか?
4	友達とコミュニケーションをしながら動きなどを工夫して作品が作れましたか?
5	イメージしたものに合った動きを表現できましたか?
わかったこと、できたことなどを自由に書こう。	

【評価と学習カード】

③ 児童がかかわりを意識し、意欲的に学習に取り組むためのワークシートの工夫

かかわりをより意識して活動に取り組むことができるようにするため、ふり返しカードを活用した。発達段階に応じたかかわりが深まっていくように、学年ごとのつながりあるもの考えた。評価項目にかかわりに関する事柄を設け、周りとかかわることのできるものが増えていくことを実感できるようにした。また、お互いを認め合い、意欲をもって学習へ取り組むことができるようなワークシートの在り方を考えた。

大変だ！〇〇 グループ活動シート () 班

選んだテーマ

想像したイメージ

動きの流れ

はじめ

なか

おわり

ふり返しカード ()月()日

チェック項目	◎・○・△
1 「表現運動の約束」を守って活動することができましたか。	
2 友達と助け合いながら進んで活動することができましたか。	
3 友達のよいところを見つけ伝えることができましたか。	
4 「はじめ・なか・おわり」をつけたまとまりのある表現ができましたか。	
5 自分やグループに合った動きを選ぶことができましたか。	
<感想>	

グループごとに学習内容を考えやすくするためのワークシートの工夫

かかわりを意識させるための項目を明記

【かかわりを意識できるためのワークシート】

3 研究の結果と考察

- 研究の方向性を定め、学習指導要領をもとに学習会を行うことによって、表現遊び等の授業イメージを小体連理事会の中で共有化することができた。
- 動き・動き方を示した一覧表を活用したことで、学年ごとの指導に生かすことができた。
- 視覚的資料を作成したことで、表現内容に広がりが見られ、表現運動に意欲的に取り組むことができた。
- 児童自身の意識の変化や児童自ら様々な動き方を表現する楽しさを実感することができた。
- 本研究を南那珂地区に広げ、活用を進める必要がある。
- 今後も“かかわる”を意識して活動できる学習資料を作成し、実践を継続する。
- 今後もさらに”かかわる”から”できる”へつながる授業づくりを追究していく。